

# JICA 中国事務所ニュース

(2005年3月号)

## 1. JICA 及び JICA 事業に関する最近のトピック

### (1)人工林木材研究計画プロジェクトが終了！

3月30日に終了を迎える中国人工林木材研究計画プロジェクトの終了座談会が3月18日に中国林業科学研究院木材工業研究所にて開催されました。中国側からは、国家科学技術部、国家林業局、中国林業科学研究院の関係者が、また、日本側からは、JICA 関係者の他、日本大使館書記官も参加し、合計20名ほどでプロジェクトの最終成果の確認と今後の展望などについて意見交換が行われました。

中国政府が進める6大林業重点事業等で植林された人工林木材の有効利用のために、プロジェクトでは木材加工を行うための基礎研究が、人工林木材の特性、化学的処理、物理的処理という3つの課題から展開されました。これまでの日本人専門家(長期専門家9名、短期専門家25名)の指導や日本でのカウンターパート(21名)研修等を通じ、得られた研究成果(学会報告、論文等)は総数95点にのぼり、中国林業科学研究院における人工林木材研究能力が大幅に向上しました。

終了式においては、国家科学技術部より長期専門家5名に対し「荣誉证书」を授与されました。また、中国林業科学研究院からは、森林総合研究所等の日本の研究機関との協力関係の継続・発展も期待し、林良興チーフアドバイザーをはじめ中井孝、黒須博司及び池田敦専門家4名に対して「顧問研究員証書」が授与されました。



終了式に参加する各関係者

### (2)中国 知的財産権保護セミナーを開催！

3月3日、北京新世紀日航飯店に於いて当事務所と国家科学技術部政策法規・体制改革司との共催により「中国 知的財産権保護セミナー」を開催しました。セミナーには、中国側から国家科学技術部政策法規・体制改革司、知的財産権局条約法律司、日本側から比較法研究センター関係者、JICA 関係者等合計約30名が出席しました。

JICA は、1995年度から中国政府の関係者を対象に、日本で知的財産権保護分野の研修を比較法研究センターを研修実施委託機関として実施してきました。2002年度からは研修内容を見直し、知的財産権にかかる国際的な諸問題についての意見交換や比較研究の実施を通じて、中国の行政や司法の関連スキルを向上することを目標にしています。

今回のセミナーは、これまでの協力を通じた成果を確認するとともに、今後の知的財産権の保護に係るJICAの対中技術協力の方向性について検討すること等を目的に実施されました。セミナーでは、上記本邦研修の参加者から、帰国後の取り組みが発表された他、中国における知的財産権保護のための法制度や政策の現状と課題等について発表や議論が活発

に行われました。

今後の協力に関しては、中国の関連法規、政策の立案を行うキーパーソンが知的財産権に係る国際的規範をより深く理解することや、日中の関連分野の人材による相互交流を強化していくことの重要性が参加者から指摘されました。

## 2. 調査団の動き等

- ア. 新疆トルファン盆地における持続的地下水資源利用調査(開発調査・本格調査、5/11-3/21)
- イ. 水利権制度整備調査(開発調査・本格調査、8/3-3/18)
- ウ. 西部開発金融制度改革調査(開発調査・本格調査、10/25-3/12)
- エ. 第5次貧困地域結核抑制計画(無償資金協力・基本設計調査、2/20-3/12)
- オ. 医薬品安全性評価センター日中友好プロジェクト(技術協力プロジェクト・終了時調査、2/23-3/8)
- カ. 知的財産権分野プロジェクト形成調査(3/1-3/5)
- キ. 山西省母子保健・児童病院医療機材整備計画(無償資金協力・基本設計調査、3/6~20)
- ク. 湖北省菜種生産技術開発現地実証調査(技術協力プロジェクト・終了時評価調査、3/9~3/19)
- ケ. 太湖水環境修復モデルプロジェクト(技術協力プロジェクト・運営指導調査、3/8~19)
- コ. 無償資金協力調査団(技術監査、3/12~19)
- サ. 日中気象災害協力研究センター(技術協力プロジェクト事前評価第1次調査、3/13~3/17)
- シ. 青海省環西寧圏総合観光開発計画調査(開発調査・本格調査、3/24-7/15)

## 3. 今月の行事等

- |              |                           |
|--------------|---------------------------|
| (1)3月9日      | 西部開発金融制度改革調査インテリムレポートセミナー |
| (2)3月12日—14日 | JSAスピーチコンテスト              |
| (3)3月21日—23日 | 中国プレスツアー                  |
| (4)3月24日—30日 | 中学生エッセイコンテスト受賞者訪中         |

## 4. 中国の動き

### (1) 今月の数字

18.21%

1月18日に、国家林業局副局長から、第6次森林資源調査(99-03年、5年間の調査)の結果が発表されました。その結果によると、森林面積は1.7億ha、森林被覆率(国土面積に占める森林面積の割合)は18.21%という結果でした。第5次森林資源調査(94-98年、5年間の調査)の結果よりも、森林面積は1596万8300ha増加し、森林被覆率は16.55%から18.21%へと、1.66ポイント増加しました(ちなみに、日本の森林被覆率は64%、世界平均は

29.6%)。天然林保護事業、退耕還林事業、「三北」・長江流域等防護林システム整備事業等の森林保全や造成のための事業が全国的に着実に展開されていた結果が、上記の結果に結びついていると言えます。

中国政府は、生態環境の改善を図るために「全国生態環境建設計画」を策定し、2010年にまでに森林被覆率を19%以上に、2050年までに森林被覆率26%以上にすることを目指しています。「国家第10次5カ年計画」(01年-05年)においては、2005年までに森林被覆率18.2%とする目標値を設定していますが、上記の調査結果によればすでにこの目標は達成されています。これを踏まえれば、今後も森林面積の増加のための取り組みは着実に進むものと予想されますが、造成された森林の質の維持、向上や、土地利用に関する農牧業との調整、貧困対策との調和が今後ますます重要になるものと考えられます。



安徽省潜山県 退耕還林事業 実施地

中国網 3月1日記事をもとに 鍛冶澤所員が記述

## (2) トピックス

### 「2004年国民経済・社会発展統計年報」が発表される！

国家統計局は2月28日、「2004年国民経済・社会発展統計年報」(香港、マカオ、台湾を含まず)を発表し、昨年中国の経済や社会に関する主要な統計データを明らかにしました。すでにご覧になっている方も多いと思いますが、その中で主要なものをいくつか紹介します。

- (ア) 2004年の全国のGDPは前年比9.5%増の13兆6515億元(名目)でした。産業別に見ると、第2次産業は同11.1%増の7兆2384元となり、他の二産業の成長率を大幅に上回っています。他方、GDPの伸びに対する第一次、第三次産業の寄与率は昨年度よりも上回りました。
- (イ) 全国の消費者物価指数(CPI)は前年比3.9%増でした。種別ごとに見ると、食糧は上昇率26.4%と最高を記録(農村部では27.7%)、原材料・燃料・電力購入価格は11.4%等でした。一方、衣類、医療保健、交通・通信製品はいずれも前年を下回りました。食糧を含む食品の物価上昇率が9.9%(農村部で11.5%)と高い水準となっていることは、エンゲル係数(家計支出に占める食品の支出の割合)が相対的に高い農村部(都市部37.7%に対し、農村部は47.2%)により深刻な影響を与えているものと思われる。
- (ウ) 国の外貨準備高は前年末より2067億ドル増え、6099億ドルに達しました。外資による直接投資は、実質ベースで13.3%増となる606億ドルで、通年で認可された外資による企業設立は4万3664件となりました。
- (エ) 関税と農業税を含まない税収は前年比で25.7%上昇し、2兆5718元となりました。
- (オ) 農民一人当たりの純収入は実質で前年比6.8%増の2936円で、実質上昇率が1997年以降で最高となりました。他方、都市住民一人当たりの可処分所得は9422元、実質上昇率は7.7%で、農民の一人当たりの純収入の伸びを上回りました。
- (カ) 全国都市部で新たに就職を果たした人は国の目標を80万人上回る980万人を記録。一時帰休者のうち510万人が再就職を実現、2004年末の都市部の登録失業率は前年比

0.1%減の 4.2%となりました。

(キ)基本養老保険(年金)への加入者は前年比 836 万人増の 1 億 6342 万人、医療保険への加入者は前年比 1484 万人増の 1 億 2386 万人となりました(これらの加入者数の統計はいずれも、基本的に都市部のみが対象となっています)。

以上